

次 市議 だより

第89号

2026
5.10

≪特集≫

議場発表会を開催！


～県立三次中学校と三次市議会の交流会～

もっと三次を好きになる。



市議会の情報は
ここでチェック！



 マチイロ
電子版も読めます！



Topic 1 敷地保育所の廃止など
こんなことが決まりました

Topic 2 14人の議員が質問！
市政を問う

Topic 3 移住者のみんなが集まったよ！
とびだせ議会！

特集

広島県立三次中学校と

三次市議会の

交流会

3年目を迎えた広島県立三次中学校との交流会。令和7年度も「総合的な学習の時間」の中で、県北地域を元気にする活性化案を全19グループの生徒の皆さんと一緒に考えました。2回の交流、そして校内発表会を経て、最終的に選考された2グループが議場で発表を行いました。

第1回

R7.11.5

総合的な学習の時間
三次市議会議員との
交流会



第2回

R7.12.16

総合的な学習の時間
県北地域
活性化案発表会



第3回

R8.2.3

総合的な学習の時間
発表会



第4回

R8.2.16

総合的な学習
まちづくり提案
議場発表会



議場で
発表！

3年A組Hグループ 「三次アウトレットモールを作ろう!!」
3年B組Hグループ 「廃電カフェ～三次の知名度 up～」



Q 発表した感想は？

A 緊張したけれど、このような場で伝えられた経験が嬉しい。



Q 今回のテーマを選んだきっかけは？

A 生徒みんなで遊ぶところ、集う場所が欲しいと思った。

Q 今回の発表で気をつけたことは？

A 財政面もしっかりと研究できたことは良かった。



Q 三次の自慢は？

A 自然たっぷりで、ゆっくりする時間が持てる。食べ物がおいしい。



皆さんの三次愛と素晴らしいアイデアを政策に生かせるよう議会も頑張ります！

三次市議会

「議員と話そう」を開催しました

令和8年1月8日から2月7日まで、三次市議会「議員と話そう」を開催しました。昨年度に引き続き冬期での開催となりましたが、市内19会場で延べ340名の参加がありました。

「議員と話そう」
はこちら



こんな意見がありました

意見提言やアンケートの中から一部をご紹介します。

- 常会の加入率が非常に悪く、子ども同士のつながりもうまれにくい状況にある。
- ふるさと納税をはじめ、もっと市が稼ぐ取組をしなければならない。
- 中山間地域の農業の課題(担い手不足、耕作放棄地、鳥獣害対策など)に積極的に取り組んでほしい。
- 企業誘致で若者が働く環境を作ってほしい。
- 日常の移動手段を確保してほしい。「のるーと三次」の拡充。
- 学びの多様化学校や小規模特認校について、全市民にその説明があるのではないか。
- コミュニティセンターを自由に遊べる子育て拠点として活用し、親同士が交流できる場を設けてほしい。

開催状況やアンケートの結果をまとめたものは広報広聴常任委員会で協議した上、報告書を作成し、ホームページに掲載しています。

令和7年度 三次市議会「議員と話そう」参加者数

開催日	会場名	参加者数
1月8日	作木山村開発センター	24
1月13日	甲奴健康づくりセンター ゆげんき	12
1月14日	粟屋コミュニティセンター	11
1月15日	河内コミュニティセンター	21
1月17日	酒屋コミュニティセンター	30
1月21日	川西コミュニティセンター	11
	神杉コミュニティセンター	10
1月22日	清河コミュニティセンター	10
1月23日	三良坂コミュニティセンター	25
1月28日	よっしゃ吉舎	22
	布野生涯学習センター	23
1月29日	川地コミュニティセンター	20
	三次ふれあい会館	20
1月30日	八次コミュニティセンター	20
1月31日	みわ文化センター	21
2月3日	十日市コミュニティセンター	17
	田幸コミュニティセンター	9
2月6日	君田生涯学習センター	20
2月7日	和田コミュニティセンター	14
合計		340



第1部活動報告 (粟屋会場)



第2部ワークショップ (君田会場)



第1部活動報告 (田幸会場)



第2部ワークショップ (河内会場)

令和8年3月定例会では、

こんなことが 決まりました



2月20日(金)から3月16日(月)まで開催

議案 67 件及び発議 7 件を可決、報告 3 件を承認、
請願 1 件を採択としました。今回はその中からピック
アップして紹介します。その他の議案等について
は、下記のQRコードからご覧になれます。



令和8年度当初予算

予算総額

697億4,825万3千円

(前年度から 4 億8,983万1千円増えました)

【一般会計】 394 億 5,000 万円

【特別会計】 133 億 5,124 万 7 千円

【企業会計】 139 億 6,098 万円 (収益的収支)

29 億 8,602 万 6 千円 (資本的収支)

令和8年度
当初予算は
こちら



令和7年度一般会計補正予算

16億6,979万8千円

生活交通対策事業補助金 26,571 千円 等

(路線バスなどの乗車運賃収入の減少に伴う運行補助金の増額)

補正予算は
こちら



議案第 22 号 三次市横谷ふるさとセンター設置及び管理条例を廃止する条例

「横谷ふるさとセンター」の 関係条例を廃止します

横谷ふるさとセンターを普通財産に変更することに伴い、関係条例を廃止します。

※普通財産…市の業務目的に使われなくなった財産で、売却・貸付など多様な用途に活用できる。



横谷ふるさとセンター（布野町）

議案第 25 号 三次市保育所設置条例の一部を改正する条例

「敷地保育所」を令和 7 年度末で 廃止します

敷地保育所を令和 7 年度末で廃止することに伴い、関係条例から名称と位置を削除します。



敷地保育所（吉舎町）

議案第 30 号 三次市農林業集会施設設置及び管理条例の一部を改正する条例

「仁賀集会所」を「仁賀コミュニティセンター」 として位置づけます

隣接する仁賀コミュニティセンターと一体的に活用されている仁賀集会所をコミュニティセンターとして位置づけることとし、関係条例を改正します。



コミュニティセンターとして位置づけられる
仁賀集会所（左の建物）

委員会審査

各常任委員長報告

定例会で、各常任委員会に審査付託となった議案等について、3月2日～4日に各委員会を開催しました。
 (※紙面の都合上、要旨を掲載しています。)

教育民生常任委員会 3月2日開催

【付託議案】
 議案第19号「三次市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例(案)」ほか7議案

請願第1号「障害者による情報の取得及び利用並びに意思疎通に係る施策の推進に関する条例並びに手話言語に関する条例を別立てで制定することについて」

【審査結果】
 議案第19号ほか7議案 いずれも全員一致をもって原案のとおり可決

【議案に対する意見】

議案第37号「指定管理者の指定の変更について」は、今後も地域の高齢者の安心安全な生活に資するよう、他の事業者による指定管理運営を図るなど、事業の継続も含め、引き続き検討されたい。

【請願審査の要旨】

請願第1号について、福祉保健部からは、現在、市では令和9年度から更新す

る障害者福祉計画の見直しを行っている。当事者団体との意見交換も今後予定しており、これは条例を制定することが目的ではなく、計画の見直しに向けたヒアリングになるが、市の特性に応じたものが必要だということであれば、どのような内容が求められているかを検討しながら、手話の位置づけや情報のあり方についてと計画の中に明記していきたいと考えている。といった説明があった。提出者からは、条例を制定することにより市としての責務を明確にすること、市の実情や地域の特徴に則した具体的な施策を位置づけること、共通理解を形成することが可能となる。条例による明確な根拠があることが、継続的で実効性のある取組につながることを考えている。との説明があった。採択の結果、本請願は願意が妥当であることから、全員一致をもって、採択すべきと決した。

産業建設常任委員会 3月3日開催

【付託議案】

議案第28号「三次市オフィスビル系事業所立地促進条例の一部を改正する条例(案)」ほか9議案

【審査結果】

議案第28号ほか9議案 いずれも全員一致をもって原案のとおり可決

【議案に対する意見】

議案第32号「三次市木工芸品等加工販売施設設置及び管理条例を廃止する

条例(案)」については、地元での活用を採り協議を継続していく方針であるが、従来の枠組みに捉われないことなく、官民連携や企業誘致、関係人口の創出といった多角的な視点を柔軟に取り入れ、早期活用が図られるよう努められたい。

議案第33号「三次市特定地域生活排水処理施設設置及び管理条例の一部を改正する条例(案)」については、基本料金の改定は市民生活への影響が多いため、改定は市民生活への影響が多いため、改定の必要性等について丁寧な周知・説明を行い、市民の理解獲得に万全を期されたい。

総務常任委員会 3月4日開催

【付託議案】

議案第18号「三次市条例の読点の表記を改める条例(案)」ほか8議案

【審査結果】

議案第18号ほか8議案 いずれも全員一致をもって原案のとおり可決

【議案に対する意見】

議案第22号「三次市横谷ふるさとセンター設置及び管理条例を廃止する条例(案)」について、当該施設の利活用に向けて、サウンディング型市場調査を多様な媒体を通じて広く実施し、有効活用につながるよう取り組まれたい。

予算審議

予算決算常任委員会に審査付託となった議案16件について、3月5日から12日まで委員会を開催しました。

【付託議案】

議案第2号 令和8年度三次市一般会計予算(案)ほか15件

【審査結果】

いずれも全員一致をもって原案のとおり可決



新年度予算、補正予算を審議

各委員長報告の全文はこちら



委員長報告の全文はこちら



まちを良くする！ 議員からの主な提出議案

議員提出議案は
こちら



● 発議第 1 号 三次市における議会関係ハラスメントを根絶するための条例(案) 【全員一致 / 可決】



議員から市民・職員への行為はもちろん、議員や候補者へのハラスメントも根絶し、誰もが議会に参画しやすい環境を整備することをめざし、議長から諮問を受けた議会活性化等検討特別委員会において、条例制定に向けて取り組み、令和 8 年 3 月定例会において全会一致で可決しました。市民の行為を防止対象とする条例は全国で 4 例目の制定となります。

それぞれの責務

○議員・候補者

自らの言動を厳しく律するとともに、ハラスメントを行っている者があれば指摘するよう努める等注意を促し、市議会からのハラスメントの根絶を率先して行う。

○市民

条例の趣旨である政治分野における男女共同参画の推進を尊重し、議員等に対するハラスメントの根絶に協力するよう努める。

関係条例は
こちら



● 発議第 4 号 広島県立三次高等技術専門校の存続を求める意見書(案) 【全員一致 / 可決】

● 発議第 5 号 中山間地域の持続可能な農業の確立に向けた取組を求める意見書(案) 【全員一致 / 可決】

● 発議第 7 号 ケーブルテレビ事業の運営及び施設譲渡に関する契約条件の慎重な検討を求める決議(案) 【全員一致 / 可決】

● 発議第 6 号 中東地域における軍事行動の早期事態収拾とエネルギー供給の安定を求める意見書(案) 【賛成多数 / 可決】

私はこう考える！ 討論で「賛成」「反対」

賛成

新田 真一 議員 (会派 未来)
三次市の平和だけでは世界の平和は成し得ない



三次市が平和非核都市宣言を掲げる中で、戦火が長引くことによる燃料高騰は市民生活に影響を及ぼすと考える。政府に対し、公益を守るための明確な対策を強く求める。

反対

横光 春市 議員 (三輝会)
市議会としての提出はふさわしくない



国において、すでに原油高騰対策を検討し実行に移そうとしている。外交に関することは国において行うことであり、地方議会である三次市議会として、国に意見を呈すべきではないと考える。

発議第 6 号審議結果 ○…賛成 ×…反対

会派	三輝会						清友会				明日への風				会派 未来		公明党		真正会	日本共産党		
議員名	小田	横光	弓掛	藤井	月橋	國重	細美	穴戸	保実	山村	重信	山田	掛田	藤岡	徳岡	増田	新田	竹田	中原	片岡	鈴木	伊藤
可決 (賛成多数)	×	×	×	×	×	×	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	欠席



清友会

ししど みのる
宍戸 稔

動画



質問 1 これからの学校運営の在り方について

学校運営が「管理する側」と「管理される側」に二分された構造のままでは、子どもが自ら考え、判断し、責任を持つ経験は限定的なものに留まってしまうのではないか。このことから、現在の教育現場で「当たり前」に行われている宿題、定期考査、固定担任制は、児童生徒の主体性や当事者意識の醸成を妨げている側面があるため、その廃止を検討すべきではないか。

答弁 1 児童生徒が自立できるような教育活動の充実をめざす

迫田教育長

宿題や定期考査、学級担任を一律に廃止する考えはないが、児童生徒が主体的に取り組む工夫は重要である。児童生徒が自分で調べたいと思ったことについてまとめる自主学習や学習アプリの活用など、多様な学び方を選択できるよう工夫している。定期テストだけでなく、日常の学習状況を継続的に把握して評価することも行っている。チーム担任制や教科担任制を導入している学校もある。今後も児童生徒が社会で自立するために必要な力を身につける教育活動の充実をめざす。

答弁 1 市全体をフィールドとした生きる力の育成につなげていく

福岡市長

市では教育大綱に基づき「心豊かでたくましい人づくり」を推進している。教育フェスタや若者まちづくりEXPOでは、子どもたちが地域の課題に対し、主体的に探究・実践する姿が見られた。こうした、正解のない課題に挑む学びを地域で共有し、市全体をフィールドとした生きる力の育成につなげていきたいと考えている。

質問 2 持続可能な三次市農業の確立の考えは

本市農業は単なる産業政策ではなく、地域そのものを支える基盤である。従来施策の延長ではなく、持続可能な農業確立の重点施策をどう講じようとしているのか。

答弁 2 ニーズに沿った効果的で幅広い支援策を展開していく

福岡市長

本市を取り巻く農業の課題に対応するため、定住に結びつく新規就農者の育成や確保、担い手の農地集積の促進、さらにはICTを活用したスマート農業の導入など、各種支援策を展開していくとともに、新たな地域資源の活用策として、薬用作物の産地化や、農業企業参入の推進に取り組んでいる。今後も、農家のニーズに沿った効果的で幅広い支援策を展開していく。



清友会

しげのぶ よしのり
重信 好範

動画



質問 1 広島県知事が示す施策方針との連携は

昨年就任した横田知事は農林畜水産業において「実りある広島新時代」を掲げ、生産力の強化と、担い手育成を最優先課題として施策を展開している。本市の米、ピオーネ等の主要作物をはじめとする農林業・酪農業がおかれている現状から、知事が示している施策方針とどのように連携していくのか。

答弁 1 中山間地域を取り巻く課題解決に向けて連携していく

福岡市長

すべての分野において、広島県との連携は不可欠であるが、その中でも特に、農業の分野においては鳥獣害対策のため、今年度から（一社）広島県鳥獣対策等地域支援機構（テゴス）に参画するなど、農地を含む集落の維持管理について、連携を進めていく。

質問 2 学校給食無償化導入後の給食の質の向上は

国は令和8年度から公立小学校を対象とした学校給食の無償化に向け準備を進めている。無償化導入後も物価高騰が予想され、栄養バランスの取れた献立や地産地消の取組等、子どもたちのために給食の質の向上が必要と考えるがいかがか。



安心・安全な給食を（三次学校給食センター）

答弁 2 無償化により給食の質や量が低下することはない

宮脇教育部長

学校給食の献立は、学校給食摂取基準に基づき作成している。また、旬の農産物を献立に的確に反映したり、学校給食食育推進事業を実施して、三次ブランドの食材を学校給食に活用するなど、給食の質の確保及び向上に努めている。



明日への風
かけ だ かつ ひこ
掛田 勝彦

動画 



質問 1 三次市における今後の財政状況の見通しは

昨年 11 月に策定された「令和 7 年度三次市実施計画・財政計画」では、令和 8 年度の経常経費だけでも約 5 億 4 千万円の赤字が見込まれている。実施計画にある投資的な事業を含めると、計画期間の最終年度にあたる令和 10 年度まで 10 億円規模の財源不足が発生することになる。この財源不足を解消するためには基金を取り崩して埋め合わせをしていくことになっているが、令和 11 年度以降も同様の財源不足が続く見込みなのか。



未来へつなく持続可能な自治体財政

答弁 1 令和 8 年度中に収支見直しを見直す予定である

桑田総務部長

三次市長期財政運営計画では、一定の財源不足が続く見通しであるとしている。しかし、この収支見直しは、策定から相当の期間が経過していることに加え、国勢調査に基づく普通交付税の算定方法の変更や、人件費や物件費の急激な上昇など、前提条件の変動が見込まれているため、令和 8 年度中に、収支見直しを見直す予定である。

質問 2 三次市の未来を見据え、どのような将来像を描こうとしているのか

中心市街地と広大な中山間地域の間で、行政サービスや投資を今後どう進めるのか。これは住民自治や地域づくりにも関わる重要な課題である。重点投資が分散型か、あるいは均衡か、市の将来像を問う。

答弁 2 引き続き、中心市街地と各地域の維持発展に取り組んでいく

笹岡経営企画部長

市はこれまででも新市まちづくり計画や総合計画等に基づき、魅力ある都市基盤の整備や各地域の特性を生かしたまちづくりに取り組んできた。引き続き、中心市街地においては都市拠点性の維持向上、各地域においては、地域の個性を生かした特色あるまちづくりによる地域拠点性の確保に取り組み、三次の元気づくりにつなげていく。



清友会
やす ざね おさむ
保実 治

動画 



質問 1 5 歳児健診の実施をすべきではないか

乳幼児健診では見えづらかった集団生活における社会性やコミュニケーションの課題が、5 歳児になると顕著になる。課題を把握することで適切な支援につなげられると考える。まずは健診で特性を把握し、学校側が受け入れ態勢を整えることで、不登校になるリスクを減らすことができるのではないかと考える。

答弁 1 5 歳児健診後の相談支援を含めた実効性のある健診体制を構築する

福岡市長

5 歳児健診は学校の対象者を選定するものではなく、子どもの特性を保護者や保育所・幼稚園、関係機関と共有し、円滑な就学準備につなげる重要な役割を担うものである。健診後の相談支援を含めた実効性のある実施体制を小児科医会等関係機関と協議し、着実に進めていく。

質問 2 鉄鋼スラグの導入を

実証地では電気柵の下地に鉄鋼スラグを併用することで、イノシシ、鹿などによる被害がほぼ解消されている。費用も安価で、国も導入支援を予算化している。市でも検討すべきと考えるがいかがか。



鉄鋼スラグを利用した電気柵の設置状況
(和歌山県果樹試験場提供)

※鉄鋼スラグ…鉄鉱石から鉄を製造する過程で生まれる、石灰やシリカを主成分とした副産物

答弁 2 費用対効果も含め活用について検討していく

児玉産業振興部長

鉄鋼スラグの活用については、農業新聞等でも耐久性が高く、除草の省力化にもつながっているとされている。今後の活用についてはまず、農業者が施工等を簡易にできるかなど調査研究し、費用対効果も含め検討していきたいと考えている。



明日への風

増田 誠宏

動画



質問 1 小学生の長時間通学の課題と教育行政の考えは

学校再配置計画における再編により通学手段や時間が大きく変わるが、特に小学生の1時間を超える長時間通学について、教育行政として問題はないと考えているのか伺う。

答弁 1 文部科学省の指針に基づいて判断をしている

迫田教育長

文部科学省が平成27年に示した「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引き」の中で、通学時間については、概ね1時間以内を一応の目安として各市町村において判断を行うことが適当であるとされている。実際の通学を想定した試走も行い、最大でも1時間程度であることを確認しており、これらに基づいて、市としても判断をしている。

質問 2 二十歳のつどいにおける女性の出席率向上に向けた取組は

二十歳のつどいの出席状況を見ると、近年、女性の出席率が男性と比べて低い状況が続いている。特に市外に進学・就職している女性にとって、地元との関係を再確認する一つの機会ともなり得る。女性が参加しやすい環境づくりについて、今後どのように取り組んでいく考えなのか。



二十歳のつどいの様子

答弁 2 男女問わずすべての新成人が等しく祝福される大切な機会である

呑谷地域共創部長

二十歳のつどいは、すべての新成人が等しく祝福され、新たな門出を迎える大切な機会である。男女問わず、多くの若者に参加していただけるようアンケート調査を実施することで、誰もが出席しやすい環境づくりの参考にしていきたいと考える。



明日への風

藤岡 一弘

動画



質問 1 市立三次中央病院の建て替え再開の判断基準をどう考えるのか

市立三次中央病院の建て替えは、建設費の高騰、物価や人件費の上昇、診療報酬改定の影響による病院事業の収支悪化により、基本設計を策定した段階で建て替え事業を一旦中断することとなっている。市民にとっても生命と健康に大きく関係する重要な施設である。事業再開の判断基準をどのように設定するのか。



老朽化が懸念される市立三次中央病院

答弁 1 総合的に判断していく

細美副市長

事業の再開にあたっては、資金計画が整い、将来にわたって病院経営が持続可能になることがポイントになるかと考えている。その判断のためには現在の収支状況や、今後のキャッシュフローの予測、また改築事業に係る補助金の見通しなどを総合的に判断していくことになると考えている。

質問 2 県立三次高等技術専門校の存続に向けて今後の取組をどう考えるのか

県立三次高等技術専門校の存廃について、県は2026年度中に判断するとしているが、広島県北地域における唯一の県立職業能力開発拠点として、長年にわたり若者や求職者、転職希望者の技能習得と就業支援を担ってきた。人口減少対策や産業維持のためにも地域と連携し、県に存続を要望していく必要があると考えるがいかがか。

答弁 2 時代と企業ニーズに即した知識や技能を習得できる場の確保を強く求めていく

児玉産業振興部長

少子化や大学等への進学率の向上等により、入校生が減少し定員割れが継続している状況があるが、定員割れという現状のみをもって判断すべきではないと考えている。今後は関係団体とも協議を行い、そこで示される意見を地域の声として、県にしっかり届けていきたいと考えている。



会派 未来

新田 真一

動画



質問 1 「新しい学校」をどうつくるのか

学びの多様化学校・三次版小規模特認校と新たな学校の開校が計画されている。学校再配置計画の推進とあわせ、地域住民・保護者との十分な協議を行い、理解を得て行う必要がある。市としてこの計画を今後どう進めていくのか。

答弁 1 多様な意見を得るため検討会議を設置している

迫田教育長

学びの多様化学校と小規模特認校の具体的な内容や制度について、多様に意見をいただくために検討会議を設置した。現在、学びの多様化学校について先行して検討を進めている。関係地域の皆さんにもご意見を伺いながら取組を進めていく。

答弁 1 教育委員会と連携して取り組んでいく

笹岡経営企画部長

学校再配置の取組や、学びの多様化学校、小規模特認校については、子どもの教育環境に直結する重要な課題であるとともに、地域の将来にも大きく関わる課題であると認識している。教育委員会と十分に意思疎通を図り、課題を共有した上で、同じ方向性のもと連携して取り組むことが不可欠であると考えている。

質問 2 中学校の部活動はどう変わるのか

文部科学省の指針には、中学校部活動は地域移行から展開へと示されている。展開となることでどう変わるのか。特に部活動の受け皿となる団体・指導者の不足等、多くの課題があると考えているが、その課題の克服に向け、部活動の地域展開をどう進めていくのか。



部活対抗リレー（十日市中学校体育祭）

答弁 2 地域の中で広く協力をお願いすることが必要である

迫田教育長

現在3地域で6つの種目・活動について、地域展開に向けて取り組んでいる。地域展開できていない主な要因としては、活動している種目や内容の受け皿がない、あるいは十分に整っていないということがある。市全域で広く理解促進を図ることや、受け皿拡大に向けて協力をお願いするということが必要と考えている。



会派 未来

竹田 恵

動画



質問 1 魅力ある放課後児童クラブに取り組むべきでは

多様な特性を持つ児童への対応に向け、より専門性の高い支援体制を整備するには、これまで培ってきた支援員の経験に加え、人材の確保や育成、支援内容の充実が求められると考えるが見解を伺う。

答弁 1 民間委託により均一的に良質なサービスが提供できるよう努める

宮脇教育部長

放課後児童クラブの運営を民間委託することで、独自のノウハウ等により、現状よりも人材確保につながるものと考えている。体験活動等の支援内容については、支援員の裁量によるところが大きく、現時点においては支援内容の指導や企画等への十分な助言ができていない状況である。民間委託のノウハウを活用することで、すべての児童クラブで均一的に良質なサービスが提供できるよう努める。

質問 2 第3期農業振興プランの重点課題は

市の基幹産業である農業振興に向けた「第3期農業振興プラン」を策定し、新規就農者支援、スマート農業の普及、鳥獣害対策など、さまざまな重点課題の解決を図るとともに、国・県の施策や予算を有効活用できるよう研究・実践すべきと考えるがいかがか。



鳥獣害対策の研修風景

答弁 2 農業の持続可能性を高める取組を強化していく

山崎副市長

第3期三次市農業振興プランにおいては、新たに気候変動への対応及び環境に配慮した農業の推進を重点項目として取組を進めるとともに、ぶどうの生産力強化とブランドイメージの向上、ワインの生産振興に向けた取組を行うこととしている。引き続き、担い手の育成・確保や、振興作物の生産力強化に取り組むとともに、地域全体で農業の持続可能性を高める取組を強化していく。

答弁 2 課題解決に向け活用できる事業について県と情報交換していく

児玉産業振興部長

広島県が示している事業については、市農業の課題解決に向け、必要な事業だと考えている。この事業を活用できるよう、県とも情報交換をしながら、実施していくよう努める。



日本共産党

伊藤 芳則

動画



質問 1 農家の減少をどのように捉えているのか

ここ数年、農家は減少傾向にある。法人経営体は増加しているが、特に3ha未満の小規模農家の減少が止まらない。小規模水稻農家へ機械購入支援をとしているが、基幹産業を守るためには、市として所得補償・価格保証が必要ではないか。

答弁 1 適正な買取価格が実現することで地域農業の維持発展につながるものと考えている

児玉産業振興部長

現在は国の制度として、米や畑作物の収入減少の影響緩和対策や収入保険制度などのセーフティーネットもあるため、市独自の補助は考えていない。また、国においては合理的な価格の形成に向け、米をはじめとする指定品目のコスト指標を公表することとしており、今後、生産コストに見合った適正な買取価格が実現することで、生産意欲や農業所得の向上、さらには地域農業の維持発展につながるものと考えている。

質問 2 小規模特認校は全市的な議論が必要では

基本的な考え方として「大きな集団での生活になじみにくい児童を対象」、また「入学・転入が適当であると判定された児童」とあるが、小規模校も含めた再配置計画は全市的な議論で進める必要があるのではないか。

答弁 2 引き続き理解と協力を得られるような協議を進めていく

宮脇教育部長

市全体ですべての児童生徒にとって魅力ある教育環境とすることを目的に、どの地域の子どもにも集団活動が可能となるよう、学校を再配置することを基本としつつ、本市が導入しようとしている小規模特認校は、大きな集団での生活や学習になじみにくい児童を対象に、地域資源を生かし、地域との交流を大切にしながら、少人数で特色ある教育活動を展開する、学びの環境を選択できるように設置するものである。基本方針においても、学校再配置については、保護者や地域の理解と協力を得て進めると明記している。引き続き、理解と協力を得られるような協議を進めていく。



公明党

片岡 宏文

動画



質問 1 LED化推進事業の試算はできているのか

令和7年度三次市公共施設照明設備LED化推進事業はプロポーザルで行われ、契約内容はリース方式であった。リース方式は初期費用が抑えられる反面、総額は割高になると考えるが、リース方式と買い取り方式の試算はできていたのか。



LED 照明設備

答弁 1 電気料削減額を加味した試算を行っている

松本市民部長

リースで行う場合は、3年程度で設置を見込むことができ、直営工事の場合は25年間を要するという試算をしている。25年間の電気料削減額を加味した試算においては、直営工事に比べてリースの方が、約10億円の経費削減効果が出る結果となっている。

質問 2 市立三次中央病院における薬剤師不足の解消は

全国的に薬剤師が不足している中で、広島県での人口10万人あたりの薬剤師数は全国でも4番目に多いとされている。市立三次中央病院の薬剤師不足の要因として、民間薬局の薬剤師との処遇格差があると考えられるが、市の所見を伺う。

答弁 2 新たな処遇改善の検討も必要となってくる

細美市民病院部事務部長

厚生労働省が行った令和5年度の調査では、生涯賃金においては、病院薬剤師も薬局薬剤師も差がないことが示されている。市立三次中央病院では処遇改善のため、特勤手当の支給を開始するなど対応しているが、今後も採用試験への応募がない状況が続くようであれば、新たな処遇改善の検討も必要となってくると考えている。



三輝会

ゆみ かけ げん
弓掛 元

動画 ▶



質問 1 尾関山公園 100 周年記念事業の総括は

尾関山公園 100 周年記念事業の講演会や、11 年ぶりの赤穂浪士義士行列は大盛況であった。忠臣蔵を通じた歴史学習や郷土愛の醸成、地域活性化の観点から、これら記念事業を今後も継続していく考えはないか伺う。



尾関山公園 100 周年記念事業「忠臣蔵義士行列」

答弁 1 市の歴史文化を活用した重要な取組であると認識している

福岡市長

この義士行列は、地域への愛着を高めるシビックプライドの向上などにつながると考えており、新年度予算案に必要経費を計上している。義士行列は 1 つの手段であるが、三次のプロモーションにどうつなげていくのかといったことや持続性というところも重要であるため、そういった部分についても今後の課題であると認識している。

質問 2 外国人受け入れの考えは

労働者不足で外国人労働者が増える中、言葉や習慣の違いによるトラブルも発生している。市民との合意形成や対話の場を設けるとともに、外国人へのルール・マナー啓発等の支援を強化し、共生社会をめざすべきではないか。

答弁 2 協力して暮らせる社会を構築していきたい

呑谷地域共創部長

市では、国際交流協会や民間団体などと連携し、交流イベントの開催など、在住外国人と地域住民との交流の場づくりを行っている。また今年度から、交通安全教室を開催するなど、新たな取組も行っている。こうした取組を、各関係団体や事業所などと協力して行うことで、在住外国人と地域住民が協力して暮らせる社会を構築していきたいと考えている。



真正会

すず き み ゆ き
鈴木深由希

動画 ▶



質問 1 障害者福祉を市民と共有するための取組を

市として、障害者との意見交換、ヘルプマーク他、合理的配慮、情報保障の推進を実行するための啓発、児童生徒への障害への受容教育、事業所への就労支援の啓発等、障害者福祉の取組を強化する必要があると考える。手話言語や情報アクセシビリティ等の条例制定を含む具体的な政策が必要ではないか。



出典：千葉県八街市ホームページ

障害者に関するマーク

答弁 1 法律や県が施行した条例の理念に沿って事業や施策を行っていく

福岡市長

本市の場合、条例の制定は行っていないが、法律や県が施行した条例の理念に沿いながら事業や施策を行うことで、手話の普及と情報発信の手段の拡充などに取り組んでいきたいと考えている。もちろん現場の声や、障害者団体の皆さんの意見も聞きながら進めていくというのが根底にある。市にとってどのような施策が必要なのかということも含めて、今後取り組んでいきたいと考えている。

質問 2 住民自治組織の運営における政策の見直しが必要では

「三次市まち・ゆめ基本条例」はこれまで 5 回にわたり検証が行われてきたが、未だに市民への周知不足が指摘されている。役員のなり手不足による住民自治組織の存続の危機も懸念される。政策の抜本的な見直しが必要であると考えられるがいかがか。

答弁 2 当事者を交えての議論が必要であると考え

呑谷地域共創部長

近年、住民自治組織の役員や事務局員のなり手がいないという課題が顕著である。人口減少や定年延長などの社会的変化、価値観の多様化など、様々な要因があるものと考えている。この先、地域活動を継続していくには、新たな発想での見直しも必要ではないかと感じている。市からの一方的な提案ではなく、当事者を交えての議論が必要であると考えている。



三輝会

くに しげ きよ たか
國重 清隆

動画



質問 1 お試し住宅を活用した移住対策は

移住者にとって新天地の生活は期待と不安が交錯する。お試し住宅を通じて地域の魅力を体感し、不安を解消してもらうことが移住の大きな一歩となる。本制度を移住のきっかけとするための市の所見を伺う。

答弁 1 実施には慎重に研究していく必要がある

呑谷地域共創部長

市では三次市空家等対策計画を策定し、主には空き家の除去などに活用しているが、お試し住宅のように、地域活性化のための活用は10年以上の活用が条件となっていることから、所有者の承諾の必要性や特定の空き家を公費で改修し、維持管理を行わなければならないなど調整すべき課題が多くあることから、実施には慎重に研究していく必要があると考えている。

質問 2 持続可能な農業の展望は

第2期三次市農業振興プランが最終年度を迎える中、次期プランの策定が進められている。第2期の成果と課題をどのように総括し、それを第3期プランへどう反映させていくのか。市の農業の未来像と策定方針を伺う。



新規農業者の田植え風景

答弁 2 地域全体で農業の持続可能性を高める取組を強化していく

児玉産業振興部長

現在、策定を進めている第3期三次市農業振興プランは、基本的には第2期の方針を踏襲し、持続可能な地域農業の確立に主眼を置くこととしている。また、プラン策定にあたっては、これまでの取組の成果や課題の検証を行うとともに、国の施策の動向や社会情勢、環境の変化等を踏まえ、政策体系の重点項目の整理と再構築を行うこととしている。



三輝会

さい み かつ ひろ
細美 克浩

動画



質問 1 持続可能な集会所の構築を

物価高騰の影響で、住民の憩いの場である集会所の維持管理が苦境に立たされている。地域の活力を守るため、水道光熱費等の負担を軽減する自治会向け補助金を創設し、持続可能な環境を構築すべきではないか。

答弁 1 地域の枠組みなども柔軟に考えていく必要がある

呑谷地域共創部長

公平性の観点から支援は難しいと考えている。常会加入者の減少に伴い、集会所の利用機会はこれまでと比べ、頻度や時間など、稼働状況が減ってくることも考えられる。地域として集会所の維持ありきではなく、集会所の役割を担う場所や地域の枠組みなども柔軟に考えていく必要があると考えている。

質問 2 持続可能な地域公共交通体系の構築を

地域の実情に適した移動手段を確保するため、中心市街地の周辺部でもAIやICTを活用し、利便性の高い交通ネットワークを構築すべきと考える。誰もが移動しやすい持続可能な公共交通網の整備について、市の考えを伺う。



AI オンデマンドバス「のるひと三次」

答弁 2 地域の実情に応じて研究を進めていく

呑谷地域共創部長

旧町村部で運行する市民バスについては地域の意見を踏まえ、定時定路線またはデマンドバスのいずれかを運行している。また、旧三次地域では、三次市相乗りタクシー事業を実施している。周辺部については、新年度より、財政負担と利便性の両面から、それぞれの地域の実情に応じた望ましい公共交通体系について研究を進めていきたいと考えている。

広島県立三次青陵高校との交流

昨年に引き続き、令和8年1月7日に青陵高等学校との意見交流会を行いました。4グループに分かれ、3年生65名の生徒のみなさんと「市の課題・将来」「若者・高校生と市政」「市議会・意見の届け方」をテーマに交流しました。今後も若者に政治や議会を身近に感じてもらえるよう取り組んでいきます。



高校生の感想

- ・三次市の課題についてしっかり理解できた。
- ・話しやすく、議員のイメージが変わった。
- ・進学した後も三次市に戻ってもいいかなと感じた。
- ・自分自身、三次市について考えていきたい。

どのような三次にしていきたいですか？

- ・大人になっても離れていかず、若者も楽しめる町。
- ・高校生などが積極的に選挙に参加したり、過ごしやすい町。



これから議会や議員に期待することは？

- ・若者でも市政に関わることができるまちづくり。
- ・より若者の意見が反映されるまちにしてほしい。



議会のうごき

2026(令和8)年2月1日～4月30日

2月

- 3日 総合的な学習の時間発表会（広島県立三次中学校）
- 9日 議会運営委員会、産業建設常任委員会、総務常任委員会
- 13日 教育民生常任委員会
- 16日 議場発表会（広島県立三次中学校）
- 17日 全員協議会、令和7年度三次市議会議員研修会
- 18日 市議会トピックス（予算決算常任委員会）
- 19日 議会運営委員会、議会活性化等検討特別委員会
- 20日 3月定例会本会議、予算決算常任委員会、全員協議会、広報広聴常任委員会
- 24日 3月定例会本会議（一般質問）、総務常任委員会
- 25日 3月定例会本会議（一般質問）
- 26日 3月定例会本会議（一般質問）、議会運営委員会
- 27日 3月定例会本会議（一般質問）、3常任委員会

3月

- 2日 教育民生常任委員会
- 3日 産業建設常任委員会
- 4日 連合審査会、総務常任委員会
- 5日～9日 予算決算常任委員会
- 8日 市議会ブース出展(MIYOSHI2026 国際女性デー)
- 10日 予算決算常任委員会、議会運営委員会
- 11日 予算決算常任委員会
- 12日 予算決算常任委員会、議会運営委員会
- 16日 会派代表者会議、議会運営委員会、3月定例会本会議、議会運営委員会、全員協議会
- 21日 とびだせ議会！（出張意見交換会）
- 23日 議会運営委員会
- 24日 広報広聴常任委員会
- 25日 市議会トピックス（議会運営委員会）

4月

- 6日 会派代表者会議
- 13日 広報広聴常任委員会、議会運営委員会
- 16日 教育民生常任委員会
- 20日 会派代表者会議、広報広聴常任委員会、全員協議会
- 27日 議会運営委員会

最新の議会日程は
こちら





きりこちゃん
三次観光イメージキャラクター

次回の定例会は **6月12日(金)** に開会する予定です。



とびだせ議会!

“移住者のみんなが大集合”



今回は、三次市に移住して来られた皆さんに集まっていただき、広報広聴常任委員会の委員7名と意見交換をしました。(令和8年3月21日・みわ文化センター)



どうして三次に?

- 静かで何もなくて、自分の時間が過ごせる「何もないこと」が魅力
- 困ったときに当たり前に助けてくれる優しさがある
- 親子共に神楽に興味を持った。この伝統文化を継承してほしい



困ったことはある?

- 寒さ対策のリフォームが必要だった
- 携帯電話の電波が不通だったり、ネット環境が悪い
- 移住者と行政、住民自治組織との接点を作してほしい
- 子どもが遊ぶ公園や買い物ができるショッピングモールが欲しい

議員と話してみた感想は?

- 大きな街に住んでいるとき、議員と関わることはなかった。話してみると、とてもフレンドリーな感じがした
- 議員には何度も相談にのってもらっている
- このような機会を作っていただき、感謝している



「とびだせ議会!」ってなんだ!?

議会側から声かけをしていく形の意見交換会です。移住者や子育て世代など、ある程度ターゲットを絞り、地域の枠を超えて参加できる交流の場を設けていきます。

あ と
が き

現行メンバー7名による最後の発行です。中学生から高齢者まで読みやすい紙面への完全リニューアルや、市民と語らう場づくりに全力を注いだ2年間でした。

温かい支えに感謝し、この想いを次期メンバーへ託します。ありがとうございました。

(月橋 寿文)

ご意見やお問い合わせは 議会事務局へ

TEL 0824-62-6179 FAX 0824-62-6110 Eメールアドレス gikaijimu@city.miyoshi.hiroshima.jp